

保護者各位
関係者各位

鹿本小学校の学校教育に対するアンケート結果

江戸川区立鹿本小学校
校長 太巻 美青

9月に保護者の方々、学校評議員・学校応援団の皆様を対象に、本校の学校教育に関するアンケートを実施いたしました。多くのご協力に感謝いたします。アンケートの結果について話し合いを重ねました。分析と今後の取組についてご報告します。さらに本校学校教育が充実できますよう教職員一同、気を引き締めて取り組みたいと思います。今後ともご支援ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

1. 鹿本小学校の学校教育に対するアンケートの結果 (回収数 217 人、回収率 92.7%)

<設 問>		思う	やや思う	あまり思わない	思わない	未回答	合計	
重点1								
A	①	①タブレット端末を活用して学習を行っている。	43%	39%	15%	2%	1%	100%
	②	②補習学習による個に応じた指導を充実させている。	32%	50%	16%	1%	1%	100%
B	①	①「確かな学力向上推進プラン」に基づいて、学力を向上させている。	27%	53%	17%	1%	2%	100%
	②	②「数学的に考える資質・能力」の育成を目指し、算数科における習熟度別指導の充実を中心として授業を改善している。	36%	50%	12%	0%	2%	100%
	③	③読書科を充実させている。	34%	46%	17%	2%	1%	100%
	④	④ICT 機器を活用している。	31%	50%	15%	2%	2%	100%
C	①	①週ごとの家庭学習の計画により、家庭学習を定着させている。	54%	35%	8%	1%	2%	100%
重点2								
A	①	①「道徳科」を中心とし、全教育活動の中で、規範意識や思いやりの心を涵養している。	33%	54%	12%	0%	1%	100%
	②	②異学年の学び合いにより、豊かな心を涵養している。	39%	44%	15%	1%	1%	100%
B	①	①いじめや不登校の未然防止、早期発見、早期対応を図っている。	30%	50%	16%	3%	1%	100%
	②	②多様な相談体制を設けている。	35%	48%	14%	2%	1%	100%
C	①	①交流教育により、お互いを理解させている。	23%	48%	26%	1%	2%	100%
	②	①特別支援教育の校内委員会が活性化している。	22%	48%	27%	1%	2%	100%
重点3								
A	①	①運動意欲を向上させている。	27%	55%	14%	2%	2%	100%
	②	②「体力調査」の結果の分析を基に、授業を改善している	23%	49%	24%	2%	2%	100%
B	①	①生活習慣の手引きにより、生活習慣を定着させている。	32%	55%	10%	1%	2%	100%
C	①	①養護教諭と連携し、健康教育の推進している。	38%	44%	16%	0%	2%	100%
	②	②栄養士と連携し、食育を推進している。	43%	47%	8%	0%	2%	100%

重点4								
A	①	①児童の学力向上と教師の授業力向上に資するため、校内研究を推進している。	39%	52%	7%	0%	2%	100%
B	①	①学校評価を基に、学校を改善している。	36%	49%	12%	1%	2%	100%
	②	②組織的な対応を基盤とし、新型コロナウイルス感染症対策に特に重点を置いて、安心・安全な学校を作っている。	38%	46%	10%	4%	2%	100%
重点5								
A	①	①学校評議員の意見をいただき、地域に開かれた学校作りを行っている。	29%	49%	18%	1%	3%	100%
B	①	①学校応援団の連携を図っている。	32%	49%	15%	1%	3%	100%
	②	②保護者にきめ細かく情報を周知している。	34%	42%	15%	5%	4%	100%

2. アンケートの分析と解説

《総評》

24の項目中19項目で約8割以上「思う」「やや思う」と回答がありました。一方で、「あまり思わない」「思わない」の回答で2割を超えたものが4項目ありました。

《「思う」「やや思う」の割合が高かったアンケート内容の考察》

- 重点1 C①の「週ごとの家庭学習の計画により、家庭学習を充実させている。」は、「思う」「やや思う」の回答が89%でした。週の初めに1週間分の学習内容を知らせることで、学校から出された課題だけではなく自主学習にも取り組むなど、1週間の見通しをもち家庭学習の内容を自分で工夫できるような力を身に付けさせていきます。
- 重点3 C②の「栄養士と連携し、食育を推進している。」は「思う」「やや思う」の回答が90%でした。「オリンピック・パラリンピック給食」や行事食などの献立を工夫し、給食便り等を通じてご家庭と連携し、食育を推進していきます。
- 重点4 A①の「児童の学力向上と教師の授業力向上に資するため校内研究を推進している。」は「思う」「やや思う」の回答が91%でした。全クラスで年間1回の研究授業を行うだけでなく、講師を招いてのICT研修や特別支援教育研修等を行い、日々の授業に生かすことで、授業の質を上げていくための努力を続けてまいります。

《「あまり思わない」「思わない」の割合が高かったアンケート内容の考察》

- 重点2 C①の「交流教育により、お互いを理解させている。」については、新型コロナウイルス感染症対策のため教育活動が制限され、実際の交流が難しい状況です。11月に予定されている学習発表における作品交流や、リモート授業を通しての交流等、工夫をして取り組んでまいります。
- 重点2 C②の「特別支援教育の校内委員会が活性化している。」については、定期的に印刷物を発行するなど、児童及び保護者の皆様への説明の機会を作っていきます。
- 重点3 A②の『「体力調査」の結果の分析を基に、授業を改善している。』では、体育の学習内容を見直してだけでなく、20分休みに計画されている「鹿本オリンピック」や「運動遊び」の内容を工夫し、児童の体力向上を図ってまいります。
- 重点4 B②の「保護者にきめ細かく情報を周知している。」については、必要とされる情報が何かを的確に把握し、印刷物や学校ホームページを通じてスピーディーにお伝えできるよう努力してまいります。